
中国情報（WTO/FTA・貿易・安全・その他）

2008年12月5日号

◎2008年10月における中国のトウモロコシ市場観測情報

【中国農業部】

中国農業部は先ごろ、2008年10月におけるトウモロコシ市場の観測情報について発表した。その概要は以下のとおりである。

※ この記事は、中国農業部の了解を得て、独立行政法人農畜産業振興機構が翻訳提供しているものです。内容の一部または全部を転載等する場合は、資料元が当機構によるものである旨を必ず明らかにして下さい。

1 トウモロコシの単収は向上、生産量は史上最高を更新する可能性

現在、トウモロコシの収穫はすべて終了したが、10月に入り、東北の生産地の気温は平年に比べて高く、日照は十分で、トウモロコシの収穫・乾燥に有利であった。全体として、2008年のトウモロコシの生産状況は良好であるものの、栽培面積は前年に比べやや減少した。ただし、有利な気候条件でトウモロコシの単収は前年を顕著に上回り、生産量は史上最高を更新する可能性が大きい。

2 トウモロコシ輸出は引き続き大幅に減少、輸入の増加速度は緩慢に

2008年になり、中国のトウモロコシ輸出は大幅に減少した。海関統計によると、2008年1～9月の累計トウモロコシ輸出量は前年同期比96.3%減の16.6万トンとなった。主要種出省は吉林省、遼寧省、黒龍江省及び河北省の4省であり、そのうち吉林省の輸出量は14.9万トンで、総輸出量の90%を占めている。

トウモロコシの輸入増加速度は緩慢となり、2008年9月のトウモロコシ輸入量は、前年同月比4.1%減の1,274トンとなった。同年1～9月の累計輸入量は、前年同期比60.4%増の1.6万トンで、うちミャンマーとの国境地帯での貿易が総輸入量の68.9%を占め、アメリカとの一般貿易が同25.7%を占めた。

3 国内のトウモロコシ供給は十分、国際トウモロコシ需給ギャップは深刻化

国内のトウモロコシ需給は、引き続き生産が需要を上回り、加えて輸出が大幅に減少したことから、市場への出回りが増加し、国内のトウモロコシ供給量は十分である。

国際穀物理事会（I G C）の予測によると、2008/09年度の世界のトウモロコシ生産量は、前年度比2.0%減の7.71億トンと見込まれている。トウモロコシ消費量は記録的となる同1.5%増の7.88億トンと予測され、世界の期末在庫量は1.09億トンまで減少し、5年連続の低水準で推移するとみられている。在庫消費比は13.8%と予測され、国連食糧農業機関（F A O）が安全水準としている17%を下回っている。

4 国内トウモロコシ価格は下落

2008年の新穀トウモロコシの市場流通後の価格は、前2年が上昇したのに対し、下落を示した。2008年10月の国内産地の平均卸売価格は1トン当たり1,600円で、前月比2%安・前年同月比4.1%高となった。消費地の卸売価格は同1,875円で、前月比2%安・前年同月比5.3%高となった。

5 国際価格は大幅下落で年内最低を更新、内外価格差は急速に縮小

2008年10月の国際トウモロコシ価格は、今年最低となり、6月に記録した史上最高値と比べ1トン当たり106ドル安、下げ幅は37%を超えるものとなった。同月の米国メキシコ湾における2号黄色トウモロコシの平均離岸価格（本船渡し価格＝F O B価格）は1トン当たり181ドル、前月比22.7%安・前年同月比10.2%高で、これを1トン当たり1,236元と換算すると、国内の産地価格に比べ同364元安かった。

また、米国から中国までの標準的な海上輸送費の10月平均は1トン当たり43ドルとなり、最高だった2008年5月に比べ100ドル安くなり、下落幅は96.9%安となった。これにより、米国産トウモロコシの通関渡し価格（Duty Paid：C I F＋関税等）を1トン当たり1,860元とすると、同時期の国産トウモロコシの国内港到着価格よりも、1トン当たり107元強高く、前月に比べ内外価格差は縮小した。